

平成24年度 国有林モニターアンケート

結果概要

この度、国有林モニターの皆様から、森林・林業や国有林野事業に関する関心事項、ご意見、ご要望を伺うため、平成24年5月から6月にかけて国有林モニターアンケートを実施し、49人中43人の方に回答をいただきました。ご協力有難うございました。

以下に、アンケートの結果を報告いたします。なお、自由意見は抜粋して掲載しておりません。

質問事項

- I 国有林野事業の取組について
- II 国際森林年について
- III 配付した参考資料へのご意見等について
- IV その他

I 国有林野事業の取組について

問1-1 国有林モニターに応募される以前、「国有林」に対してどのようなイメージをお持ちでしたか。

まとめ

モニターになる前は、「多面的な機能の発揮に向けて、適切に管理されている」「自然環境や豊富な木材を維持管理している」といった意見があった一方で、多くの方が「あまり取組がない」「取組等を知らない」「近寄り難い」などの印象を持っていました。

回答例

<組織>

- ・多様な事業を通じて国土の保全を行っている
- ・エコ、林業に近い行政機関
- ・我が国の森林のあり方について、リードすべき組織
- ・整備された森林を管理し、豊富な木材を保有している
- ・国の政策で杉やヒノキを植えて管理し、国の水利保全に努めている
- ・社会の為ひいては国の為に役に立つ
- ・森林管理局と名前が変わり、小さな所が全部なくなり、少なさみしい
- ・どのように管理、運用され、国民の理解と協力を得られ、引いては国益にどのようにつながっているのか、具体的例がはっきりわからず、漠然としていた
- ・ほとんど知らなかった
- ・あまり動き（間伐や手入れ）がない
- ・経済性の観点がない

<林野>

- ・国によってしっかり管理されている緑豊かな森林
- ・大自然、動植物の楽園、原生林、深い森のイメージ
- ・維持や管理が大変な中で、さまざまな大切な役割を果たしている
- ・国有林と民有林の区別が付かない、わからない
- ・荒れている、手入れされていない、管理されていない
- ・国民の為に使われている気がせず、国民の森とは思えなかった
- ・国有林は世界遺産林はじめ、立ち入り等、制限多く、近寄りがたい
- ・遠いもの、市民にはあまり関係ない
- ・うす暗く荒れている、里人を寄せつけない、政治に翻弄されている、林家や民間事業者からも見放されている、「お上」意識だけは強い役所に囲われている

問1-2 国有林モニターになった後、国有林に対してどのようなイメージをお持ちになりましたか。自由にご記入ください。

まとめ

モニターとなった後は、「様々な取組がなされていることを知った」「森林や林業の重要性を改めて知った」「今後さらに森林や林業の重要性は高まると思う」等の意見が多く出されました。一方で、「まだ遠い存在と感じる」や「考え方が古い」「意識改革が必要」「もっと知ってもらう必要がある」などの意見も出されました。

回答例

<組織>

- ・多面的機能の発揮に向けた、様々な取組を実施していることが分かった
- ・多くの新しい取組がされていることを知った
- ・身近に感じるようになった
- ・（シカ対策など）少ない職員で地道な活動をしていることに感動した
- ・懸命に自然災害から山を守り、間伐材の利用拡大に心を注ぎ、子ども達へも各地で働きかけ、国民みんなで取り組もうとしていることを改めて知った
- ・少し身近に感じてきたが、まだ遠い存在のような気もする
- ・男性、お堅い人ばかりで、古いシステムと体質にしばられている
- ・インターナショナル、国際性からは遠いイメージ
- ・個別の改善を一つ一つやっても、実態改革にはつながらない
- ・広報担当者に優秀な若い方々の配置、広報担当者をマネージする立場（幹部）の者の意識改革が不可欠

<林野>

- ・多面的機能の発揮など、今後さらに重要性は高まると感じた
- ・多くの人の手が入り、管理されていることを知った
- ・公益性を重視して運用されている
- ・シカ被害など、森林の管理は大変である
- ・国、県、市、民有林は資金・労力の差でひどい差が見かけられる
- ・森林整備には、危険も伴うと知った
- ・国民に、国有林のことを知ってもらう必要があると思った（がんばっている）

問1-3 国有林（林野庁や森林管理局・森林管理署等）に関する新聞やテレビ、インターネットなどの各種メディアの報道で、印象に残っている内容があれば、その記事、報道の具体的内容（ご記憶があれば、市町村名、あるいは地域名、森林管理局・森林管理署名等の記載もお願いいたします）と、それに対するご意見、ご感想をご記入ください。

まとめ

国有林や林野庁に関する報道については、災害時の対応や、有害獣被害と対策、准フォレスター育成に関する報道が印象的だったと回答がありました。

また、メディアでの情報が少ない印象があり、情報発信の機会を増やす必要性や、携帯端末等を使用した見所の案内等の工夫が求められています。

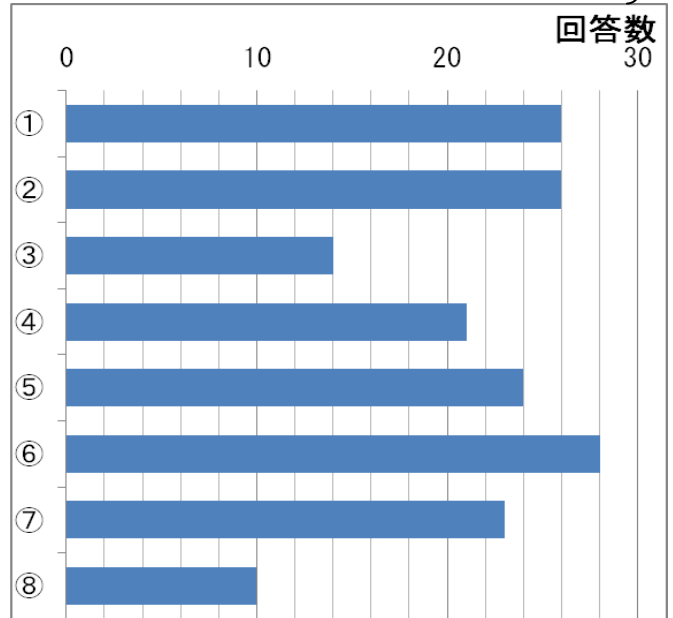
- ・ 災害時に林道を迂回路として提供したこと
- ・ 震災復興のために木材を供給したこと
- ・ 由布岳(大分県)の北側山腹治山工事で、山の姿を保つため努力していることは観光面でも貢献している
- ・ 新聞の国有林モニター募集広告を見て、一緒に活動したいと思った
- ・ 球磨地方でのシカ対策
- ・ 林務従事希望者への養成事業の募集活動
- ・ 林道の新設の報道
- ・ くまもと自然休養林の情報提供
- ・ ネットなどの媒体が非常に弱い。例えば、スマートフォンなどの対応端末から近隣の山林や、イベントの情報が取れるようなソフト（無料）があると変わるのではないか。郊外よりむしろ都市圏の人への啓発や手段はデジタルも大変重要で有効と思う
- ・ 国有林に関する報道が多かったとは思わない
- ・ シカやアナグマなどの食害に対する鳥獣被害対策など新聞報道や、九州山地脊梁の荒廃を見聞きし、日本の森林はじめ生態系への多様な危機に対し、「人類存亡の危機」に通ずるとの認識の共有と、国家的な対応策が急務と思えてならない。
- ・ 外国人の森林購入など
- ・ 国有林のオーナー制度についての報道
- ・ シカ肉料理の記事を見て、素晴らしいと思った
- ・ 「長期的な森林づくりサポート」准フォレスター11人誕生（新聞記事）
- ・ 森林・林業の再生には人材の育成が大切。
- ・ 国際森林フォーラムで気仙沼のカキ養殖業の畠山さんが森林保護の貢献で表彰される。山での植樹活動が豊かな海を保つことがよくわかりました。
- ・ 巨樹巨木を見に行ったり、報道等で知ったりして、興味を持っています。これからも大事に保護し、後世に残し、美しい日本にしたい。
- ・ 二十数年前に奄美の金作原原生林(国有林)で起きた遭難事故
- ・ 屋久島の世界自然遺産登録

問1-4 九州の国有林について、今後知りたいことは何ですか。（該当番号に○、複数回答可）

まとめ

今後知りたい内容について、イベントの予定や国有林の所在地、希少野生生物や保護区、財務状況、国有林の歴史や地域とのつながりについての関心が高いことが分かりました。

- ① 国有林で行っている具体的な事業（森林整備や治山、木材生産など）の内容
- ② 森林・林業関係のイベント（林業体験、森林教室など）の案内
- ③ 国有林の木材の販売に関すること
- ④ 身近な山の紹介や登山道の情報
- ⑤ 国有林に関する自然動植物の情報
- ⑥ 身近にある特別な森林の場所などの情報
- ⑦ 国有林の経営方針や計画に関すること
- ⑧ その他



その他の内容

- ・ イベントの経過でなく、予定が知りたい
- ・ 現地で国有林の境界がわかるような大縮尺の地図を公開してほしい
- ・ 国有林内の廃屋などについて（今後どうするのか？）
- ・ 財務状況・国有林の歴史・入会など里山との交流史
- ・ 地元の活動について細かく知りたい

問1-5 国有林モニターとして、国有林の現地視察を希望しますか。

- ① 希望する ② どちらでもない ③ 希望しない

まとめ

国有林の現地視察について、9割以上の方が視察を希望され、希少生物の保護、森林経営、低コスト作業、普及啓発など、幅広い分野への関心と意見交換への希望が出されました。

回答例

具体的内容

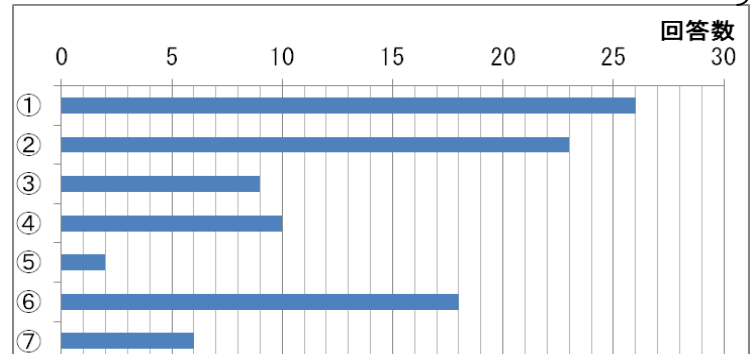
- ・ 地域に適した植栽樹種や山林経営、コンテナ苗を使用した省コスト作業、林道、間伐作業、木材の流通、製材工場などの林業関連の見学
- ・ 屋久島、綾の照葉樹林、マングローブ林、白神山地などの景勝地の見学
- ・ 保全・保護地域や希少野生生物の生息地などの見学
- ・ 先進的な事業の現場や、実際の作業の様子、イベント、不法投棄の実態、シカ被害と対策等の国有林野事業の現地見学 等

問1-6 九州森林管理局の組織に属する機関として次の機関がありますが、皆様モニターになる前からご存じの機関をお選びください。（複数回答）

まとめ

九州森林管理局管内の関係機関については、局、署、事務所の順に知名度が高いという結果になりました。

- ①九州森林管理局
- ②各地の森林管理署等
- ③森林技術センター
- ④屋久島森林環境保全センター
- ⑤西表森林環境保全ふれあいセンター
- ⑥各森林事務所
- ⑦どれも知らなかった



問2-1 九州森林管理局が今年度に重点的に取り組むこととしている事項について、興味がある又は内容を詳しく知りたい事項、内容がよくわからなかった事項をご記入ください。（3つまで選択）

まとめ

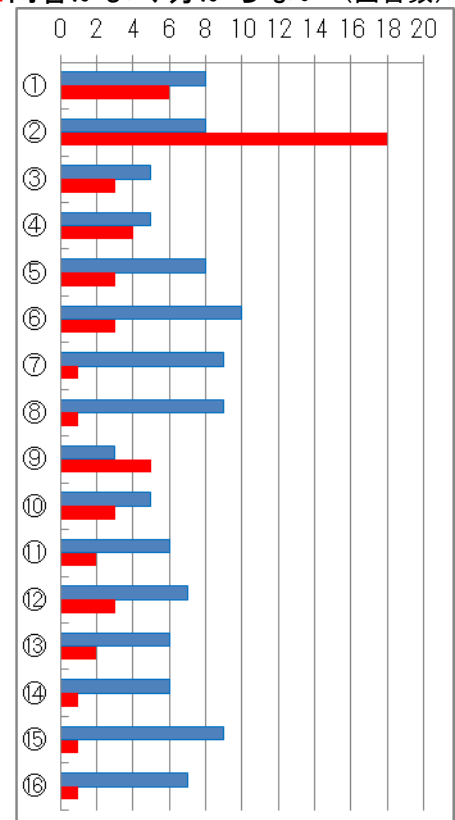
今年度の国有林野事業の重点取組事項について、各項目に対してそれぞれ反応があり、森林の管理経営に対する幅広い期待が伺える結果となりました。

よくわからなかった内容として、准フォレスター等人材の育成が多く挙げられました。専門用語の多さが理解の妨げになっていると思われます。

■興味がある又は内容を詳しく知りたい
■内容がよく分からない（回答数）

【重点取組事項一覧】

- ① 民有林・国有林が連携した森林共同施業団地における取組の推進
- ② 准フォレスター等人材育成の推進
- ③ 林業再生の基盤となる路網整備の推進
- ④ 低コスト造林の確立に向けた取組
- ⑤ 国産材の安定供給・利用拡大の推進
- ⑥ 森林・林業、山村への脅威「シカ被害」への取組
- ⑦ 世界自然遺産へ向けた森林生態系の保護・保全の推進等
- ⑧ 屋久島世界遺産地域の保護・保全
- ⑨ 地域との協働による「綾プロジェクト」の推進
- ⑩ 希少な野生動物の保護管理
- ⑪ 安全・安心の確保に向けた効果的な治山事業の展開
- ⑫ 新燃岳噴火対策の推進
- ⑬ 森林・林業への普及・啓発活動の推進
- ⑭ 子供達への森林環境教育の推進
- ⑮ 国有林を活用した森林とのふれあい活動の推進
- ⑯ 消費者と森林とを結ぶ間伐紙の取組の推進



問2-2 九州森林管理局の平成24年度重点取組事項について、ご意見等がございましたら、該当の番号と内容をご記入ください。

まとめ

各項目に対して、多くの意見が出されました。中でも、⑤国産材の安定供給・利用拡大の推進、⑥森林・林業、山村への脅威「シカ被害」への取組について、多くの期待が寄せられました。また、全体として、情報発信と取組の拡大に対する期待が寄せられました。

① 民有林・国有林が連携した森林共同施業団地における取組の推進

・小規模山林所有者・家族経営的林家が、希望が持てるような取組を進めてほしい。

② 准フォレスター等人材育成の推進

- ・准フォレスター育成の対象が国、都道府県職員中心なので、もっと対象を広げた方がよいと思う。
- ・准フォレスター研修に、一般人の参加できないか
- ・芸術活動を行っており、絵を入れる「額」を作ってみたい。木を使って、オリジナルの額を作れる育成を企画してもらいたい
- ・山林の荒廃（特に民有林）を立て直すには、山林への理解と森林の管理をする人材（特に若い人）が必要。知識と技術の教育が肝要である。
- ・森林・林業の再生には、専門的知識・技術を有する豊富な人材が不可欠
- ・若年層の就業率UPにつながる施策を講じたい

③ 林業再生の基盤となる路網整備の推進

・林業専用作業道等路網が整備されれば、国産材の低コスト化は必然

④ 低コスト造林の確立に向けた取組

- ・コンテナ苗は、広く取り入れられているものか
- ・「C材」とは何の事か
- ・冬期の伐採跡地に対しても「コンテナ苗」は植栽可能か
- ・コンテナ苗の供給について知りたい
- ・植栽までの現地保存等について知りたい

⑤ 国産材の安定供給・利用拡大の推進

- ・山林の再生には安定した販売先が必要、それと同時に経費をカバーしながら利益の出る生産管理が出来る事が大切。販路の確保を開拓すること
- ・すべての販売について公募となれば、競争入札になるのか
- ・合板の自給率は向上しているが、柱、梁の活用が目標の1/2程度であり、地産材活用に積極的な補助が必要と思われる。SGEC材の付加価値は、かなり高いと思うので、国有林材で活用できないか
- ・林業残材（木質チップ）のバイオマス発電への積極的な利用挑戦

⑥ 森林・林業、山村への脅威「シカ被害」への取組

- ・シカの頭数の増大で皆伐のリスクが高く、山林の回転が滞っている面もある。ネットでは防げない。もう少し思いきったことを考えて欲しい。
- ・実際の取組の現場を見たり、体験したりしてみたい。
- ・「シカ被害」への取組だけでなく、リスやイノシシなどへの取組も重要でないか
- ・自宅周辺に所有している山林でも日々、シカ、イノシシ、サルなどの有害獣鳥類の被害に苦慮しており、どのような工夫や取り組みがされているか是非知りたい
- ・「シカ被害」以外でも、サルは民家の客間にまで侵入、イノシシは登山中、身の危険を感じる度が度々ある。穴グマは、尾鈴山登山道で「見た」とビデオまで放映（NHK）され、実態は想像をはるかに超えているように思う。予算を伴う抜本策に向けての行動が強く望まれてならない
- ・国有林の入り口を閉じてあるため、有効なシカ駆除がむずかしくなっている
- ・森林・林業・山林にてシカが木の枝や葉を食い荒らして木がくさりはじめていて対策を考えないといけないと思った。
- ・シカ対策を考慮、実行してほしい。

⑦ 世界自然遺産へ向けた森林生態系の保護・保全の推進等

- ・奄美大島、徳之島、大隅半島などの特定の地域をあげる（指定する）ことによってこれ以外の地域がおろそかになってしまうように思う
- ・国有林すべて、という捉え方が弱いように思う
- ・世界自然遺産の森を増やしてほしい。
- ・ある一部の団体に片寄る調査がなされている。他の沢山の団体等にも「声かけ」て欲しい

⑧ 屋久島世界遺産地域の保護・保全

- ・屋久杉と大村の大名杉を見較べたい
- ・地域の保護・保全に積極的に取り組む必要性を感じる
- ・屋久島の自然保全を維持して行ってほしい。マングローブなど素晴らしいと思った

⑨ 地域との協働による「綾プロジェクト」の推進

- ・地域との協働が、輪を広げる第一歩。その意味で、「他地域～日本各地」へ波及できる要素を探すキッカケが得られるかも知れない

⑩ 希少な野生動物の保護管理

- ・動物たちが住める森づくりの企画、指導を望む
- ・どの山系に、どのような動物（植物も含む）がどのように生息しているか知りたい
- ・動植物との共生、保護活動の必要性・重要性について国民へのPR活動を活発にしたい
- ・奄美大島における、絶滅危惧種の生息状況のモニタリングなどが、どのように行われているか知りたい

⑪ 安全・安心の確保に向けた効果的な治山事業の展開

- ・ 山林の放射能汚染の実態を公表してほしい
- ・ 放射能汚染への取組について
- ・ 森林に放置された廃屋撤去について

⑫ 新燃岳噴火対策の推進

- ・ ミヤマキリシマはどうなっているか知りたい

⑬ 森林・林業への普及・啓発活動の推進

- ・ あまりみんなに知られていない所ではなく、みんなの良く知っている場所で実施できないのかなと思いました。
- ・ 子供対象だけでなく、一般人を含めて、全住民が、保育作業重視の体験イベントに方向転換をすべき
- ・ 各種の普及、啓発活動が企画されているが、「局」付近での開催が多く、その他の地域、県民には「各種のイベントを年間を通じて開催」とは言い難いのではないか
- ・ 九州各地での広範囲な啓蒙への努力と、事前の参加要請など、真剣な取組が望まれます

⑭ 子供達への森林環境教育の推進

- ・ もっと宣伝してほしい。講座などを、公募して行っていることを初めて知った
- ・ 「森塾」森の中で学ぶシステム作りに取り組むべき
- ・ 「お出かけ講座」は大切な事である。是非、全国展開して欲しい。子供への教育はお金に代えられない
- ・ 森林環境教育のフィールドについて、何処の地にどんな施設があるのか未だ良く分からない
- ・ 先生達を対象にした森の塾を8月頃実施するとの事で夏休みではあるが、学校側には連絡とかで私達モニターは全然分からぬ点が多々あり、どうしたら良いか迷っているので私一人が学校などに出向いて打合せをするのかその点責任を痛感している

⑮ 国有林を活用した森林とのふれあい活動の推進

- ・ “サポーター制度”を、九州森林管理局が中心になり、一般人が広く参加が出来る企画運営にして、個人が積極的に参加できるように願う
- ・ 老化した樹木を若返らせる対策が重要と考える

⑯ 消費者と森林とを結ぶ間伐紙の取組の推進

- ・ 今よりもさらに、消費者に「木になる紙」をアピールしても良いのではないか？
- ・ 間伐紙などの啓発ツールを国や役所だけでなく、企業にも使う努力をして欲しい
- ・ 木になる紙や関連グッズが身近なところで売られておらず残念

その他、全体への意見

- ・ すべて必要なことだから、実施し、国民の為になる様、取り組んでほしい。
- ・ 取組の大前提となる「財務状況と解決策、方向」に関するテーマが一つも無いのが不思議

II 国際森林年について

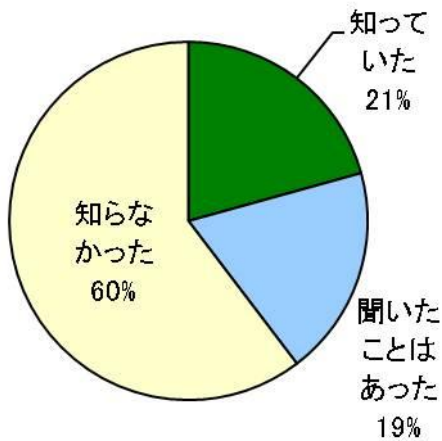
問1 「国際森林年」の目的や取組をご存じでしたか。(1つに○)

まとめ

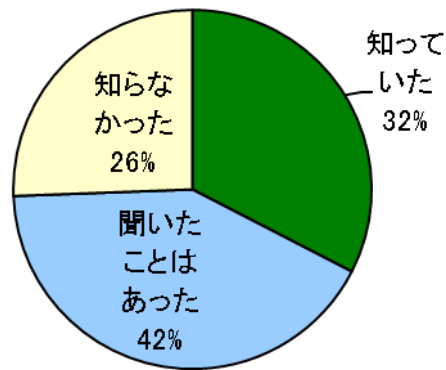
国際森林年の取組について、昨年よりは認知度が高いという結果になりました。昨年から引き続き国有林モニターに登録いただいている方が半数近くおられることから、認知度が高まったと思われます。

また、新規登録の方の認知度も、昨年と比較して高まりました。

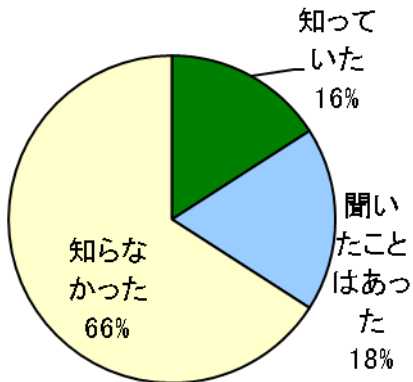
2011年6月のアンケート結果



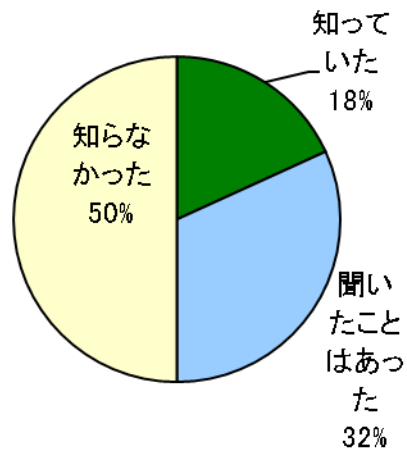
今回の結果



2011年6月のアンケート結果
2011年新規登録者



今回の結果
2012年新規登録者



問2 「国内森林年」を記念して各地で様々な催し物が開催されていましたが、どのような内容のイベントに参加しましたか。（該当番号に○、複数回答可）

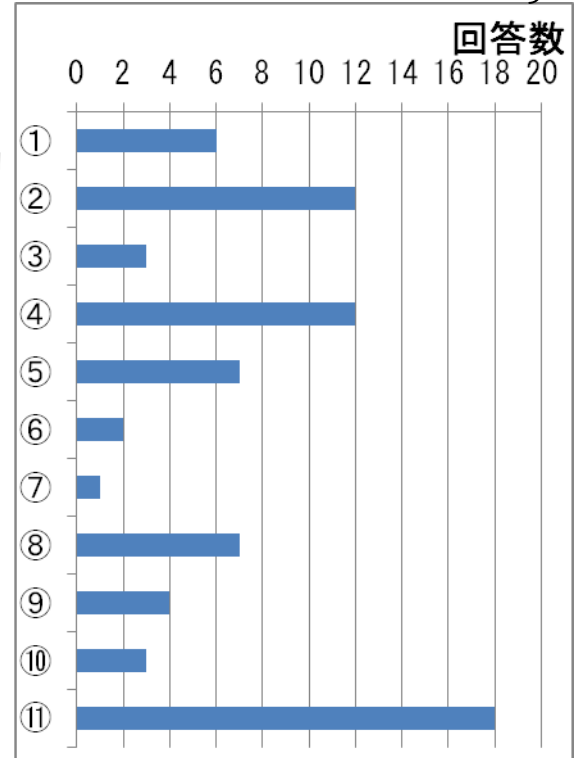
まとめ

国際森林年に関する催しに参加した方は、全体の6割近くに達し、植樹祭・育樹祭や、森林散策、自然観察会などの体験型イベントへの参加が多く見られました。

- ①森林・林業に関するセミナー、シンポジウム
- ②植樹祭・育樹祭
- ③下刈りや保育間伐等の森林づくりボランティア活動
- ④森林散策や自然観察会
- ⑤木工教室や森林教室
- ⑥林業や治山工事等の現地見学会
- ⑦森林の清掃活動
- ⑧森林浴等の保健休養
- ⑨森林に関する作品の展示会・コンクール・音楽会など
- ⑩その他
- ⑪参加していない

その他の内容

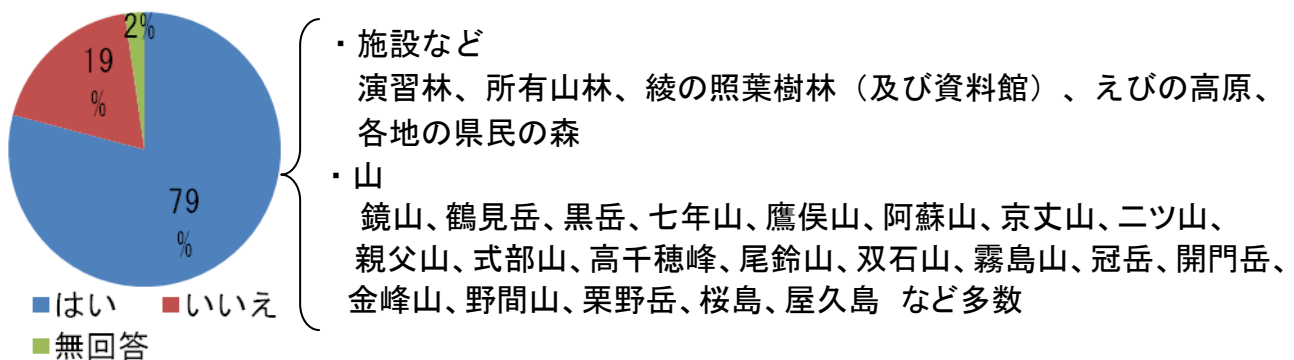
記念切手や森林組合で話を聞いた 等



問3 「国際森林年」の国内テーマは「森を歩く」でしたが、昨年、森林（山）を訪れましたか。（1つに○）（よろしければ具体的な行き先もお答え下さい。）

まとめ

多くの方々が、森林（山）を訪れたことが分かりました。



問4 (「問3」で「①はい」にご回答された方のみ) どんな目的で森林を訪れましたか。
(複数回答可、該当番号に○)

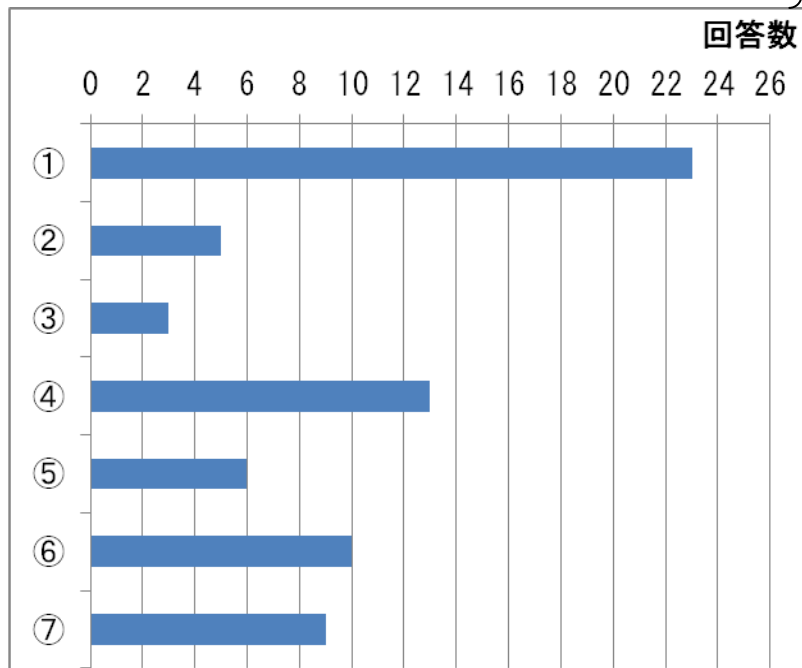
まとめ

登山、ハイキングなどで森林(山)を訪れた方が多く、自然観察会や保健休養の目的での利用も多い結果となりました。

- ①登山、ハイキングなど
- ②植樹祭・育樹祭
- ③下刈りや保育間伐等の
森林づくりボランティア活動
- ④植物や野生動物などの
自然観察会
- ⑤森林内でのレクリエーション
- ⑥森林浴等の保健休養
- ⑦その他

その他の内容

- ・所有山林の管理など
- ・希少生物のパトロールなど
- ・旧跡巡り



問5 (「問3」で「②いいえ」にご回答された方のみ) それはなぜですか。(1つに○)

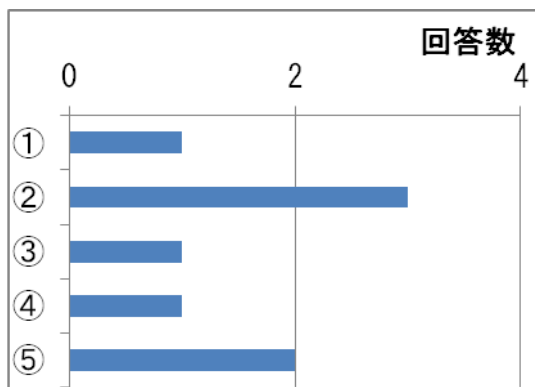
まとめ

山に行かなかった理由として、最も多かったのは時間がとれなかったというものでした。他に、火山の噴火により計画していた登山を中止したというものもありました。

- ①どこに行けばいいのかわからなかった
- ②時間がとれなかった
- ③一緒に活動できる人がいなかった
- ④行きたいと思わなかった
- ⑤その他

その他の理由

- ・新燃岳の噴火により中止 など



Ⅲ 配付した参考資料へのご意見等について

今回配布した、「九州森林管理局平成24年度重点取組事項」や「九州の国有林」「森林の魅力」「森林の恵みと危機～九州の生物多様性～」等のパンフレットに対するご意見、ご感想について。

パンフレットについては、写真を多用したものが好まれ、全体に好評価でした。しかし、写真の説明がないために、情報の質を低下させているとの指摘が数件挙げられました。

専門用語が多く出る資料については、「一般の人にはわからない」、「単語の意味が不明」等の指摘がありました。

また、「送付した資料では経費、収支関係の情報が不足している」との指摘がありました。

「九州森林管理局平成24年度重点取組事項」

- ・もう少し親切な説明がほしい
- ・内容は難しいが、貴重な資料なので、今後、読み深めていきたい
- ・ダイジェスト版として、大変理解しやすい
- ・収支構造などが知りたかった

「九州の国有林」

- ・活動内容について、詳細に理解できる。勉強になる

「森の魅力」

- ・理解し易く、見た光景も多く、楽しい資料だった
- ・紹介されていた、自然観察教育林へ出かけ、感動した。機会をみて、パンフで紹介されている森へ、「森を歩く」を実践したいと思っている

「森林の恵みと危機」

- ・よく編集してあり、具体例が多くあり、立派な学習資料であると感心した

全般

- ・良い企画で、お金がかかっていると思う
- ・資料作りが上手い。見やすく読みやすい。紙の肌触り、紙質が良い
- ・以前に比べて読みやすく、わかりやすくなっている。
- ・多くの人々に読んでもらいたい
- ・スタッフに若い男性や女性を加え、遊びのページを入れてみるのも楽しいと思う
- ・読者や、イベント参加者の一般の参加ページを入れるのも良いと思う
- ・川下分野の情報もほしい
- ・大まかな政策や柱になる考えを知りたかった
- ・治山事業など、現在は、どのような工事が行われているのか知りたい
- ・資料が多く、馴染みの少ない言語が列記されており、目を通すのに疲れた
- ・今ひとつおもしろくない！
- ・実践公開講座の開催場所がすべて熊本というのは、全くナンセンスである。すべての県で同様のことを行ってほしい。一極集中ではなく、地域的平等を追求して下さい

IV その他

森林・林業や国有林野事業等についてのご意見、ご要望などについて

- ・多くの情報発信を期待
- ・再生可能エネルギーへの取り組み強化を期待
- ・沢山の人が楽しめるイベントを作って頂きたい
- ・他業種とのコラボ企画で市場を広げるのも、ひとつのアイデアだと思う
- ・経済面も必要ですが、それ以上に国家の維持そのものだという誇りを持って推進していただきたい
- ・メディアでドンドンアピールしていくようお願いします
- ・未来の国民が、幸せな生活を送れるような日本国土にして欲しいです。
- ・森林の重要性を認識してもらうために、国民皆兵ならぬ、「国民総林務活動」を推奨する必要があると考えます
- ・国有林の伐採時に、山桜を残してほしい
- ・スギ・ヒノキばかり植えることなく、広葉樹も植えて活用してほしい。チップ材へ、何回も切れて効率、金の面でも良いと思う
- ・緑の国ドイツのように居住地が緑に囲まれる、森の中にある、そういう日本を目指してほしい。
- ・放射能汚染・森林内の廃屋撤去についての取り組み強化を！
- ・専門の人達だけが、話し合っている。他にも関心をもっている方々も呼んで欲しい
- ・今、林野行政が良い方向に変換されていることに敬意を表し、応援・協力したいと思う
- ・モニターを始めてから、森、川、海の観察眼が変わった。
- ・（自身が参加する）式部岳山開きは「国民とのふれあい推進」の重要な一要素となり得ると痛感しました。地元自治会有志の方々、森林管理署の森林整備、登山愛好者の方々のご参加等々相まって深山幽谷の森を堪能できるこの「特殊な山」の例年の山開き開会（催）に向けて、今後共ご協力と、願わくは、ご参加を念じて止みません。
- ・モニター会議、現地視察に参加する時を楽しみにしている
- ・九州の国有林だけでなく、全国の国有林一覧表みたいな資料があれば見てみたい！
- ・他の省庁と連携は取れているのか？お互いバラバラな事をやってないか心配
- ・「森林」再生の重要性については、ゆっくりとではあるが、国民の中に浸透していくと思います。私自身もモニターになってから、休耕地に木々や果物の苗を植えたり、下草を刈ったりして少しずつ取り組んでいます。
- ・多岐にわたり、意欲的、取り組みがなされようとしていることに、心強く思った
- ・森林関係者は、国有林や民有林だけでなく日本国民の居住環境全体に目を向けてほしい。
- ・数年単位で、計画達成率も教えてほしい。
- ・東北での、山林の放射能汚染の実態を公表してほしい。そして、川、動物、木材等への影響も詳しく知りたい。
- ・このアンケート調査には、「情報の受け手側からの視点」が弱いように拝察します。もう少し、「双方向性」にご留意下さると、より一層、有意義なものとなりましょう。

国有林野事業に対する、幅広い期待や情報提供を求める声など、大変多くのご意見をいただきました。ご協力誠にありがとうございました。